

# 2018年度 政策室 地域開発委員会 方針

委員長／池野 裕二郎      副委員長／澤田 光成      委員会幹事／福原 祐介  
委員／相田 紘人 金村 秀一 中根 拓也 湯田 真実 百合 拓泰

委員長 池野 裕二郎

1 近年、都市部中心の経済成長やインフラ整備の充実により地域の人口流出に歯止めがき  
2 かない中、生産年齢人口の減少やインフラ整備によるまちの利便性向上などの対策は、行  
3 政に一任している現状があります。今こそ行政主体のまちづくりではなく、次代を担う我々  
4 が、住民や行政とさらなるまちの発展の可能性を思い描き、住民中心となる今後の経済発  
5 展につなげる都市構想と自らの生活を守るまちのあり方を創出していく必要があります。  
6 まず、メンバーがまちづくりへの当事者意識を醸成するために、今後起こりうる災害  
7 を認識し、防災の観点から都市計画の現状を把握することで、インフラ整備の重要性の理  
8 解を深めていきます。そして、新たなまちのインフラモデルを創出するために、行政と今  
9 後の都市計画について検討し、我々が思い描く人やモノの行き交う利便性の良いまちを創  
10 造することで、地域の経済成長の一步へとつなげます。さらに、地域住民が活気溢れるま  
11 ちづくりへの意識を喚起するために、住民目線の利便性に優れたまちを検討し、住民が考  
12 え創り上げたインフラの整ったまちの構想を集約していきます。また、我々と住民、行政  
13 の信頼関係を強固にするために、地域の先導者である我々が情報共有できる場を創出し、  
14 まちづくりに対する意見交換を行うことで、三位一体となった都市構想を展開していきま  
15 す。そして、地域全体で行う経済成長に結びつける新たな都市計画を確立するために、地  
16 域にもたらされる経済発展や利便性に優れたまちの未来について検討し、生活基盤の整っ  
17 たまちへの期待を高めることで、活気あふれた誰もが誇れるまちのビジョンを確立します。  
18 地域の先導者として住民主体のまちづくりへと導く我々とこれからのまちを考える行政、  
19 住民が一体となり、活気に溢れたまちの未来図を創造することで信頼関係を築き上げなが  
20 ら誰もが暮らしやすいと思える地域へ転遷し、利便性に富んだ誇れる地域へつなげます。

21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28

## 事業計画

1. 2月例会の運営
2. 10月例会の運営
3. 新入会員の拡大
4. 各委員会及び出向者への協力
5. 各種大会・会議への参加

